

# ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年9月3日

## 宮城県石巻・大橋仮設集会所「ハッピードール」

テーブルを並べ、そこに椅子を持って行くやいなや皆さんの手荷物が置かれてゆきます。なんとなく座席が決まって、だんだんと自分の裁縫道具を広げる方も増えているような気がします。ワークショップが始まってからも、参加者の方は、ポツリポツリとやってきて、テーブルもひとつ畳の上に増えました。

フェルトを使った、ウサギのマスコットをつくるおばあちゃん2人。なかなか赤い糸が針穴に入らず、悪戦苦闘。でも、最後にできあがったのは、とっても可愛い赤と白のウサギさんとなりました。

前回に引き続き、ボックスティッシュのカバーをつくっているグループは、リーダー格の女性を中心に、本当にきちんと寸法をとって、家庭科の授業を見ているみたいです。8月のハッピードールのとき、作り終わらずに家で仕上げた作品を持って来て見せてくださる方たちがいるのも、ここ大橋団地集会所の特徴かもしれません。小さな布地をつないで大きくしての凄技作品づくり。テーブルの上いっぱいボタンを広げて、それを囲んで、選びに選ぶ姿などは、圧巻な感じであります。ポシェット、ポーチ、お人形、この日もたくさんの作品が出来ました。12時近くになり、後片付けもチームプレイで素早い動き。ありがたい限りです。帰り際、「今度はこんなのつくりたいの」と、作品のイメージを伝えてくれた女性は、「もっと大きなフェルトがほしいな」と。「また、来てくれるんだよね」という、うれしい言葉を背に、集会所を後にした ARTS for HOPE 宮城チームなのでした。

